



## 新興津埠頭の発展を追う

### ～ 新興津埠頭いまむかし ～

静岡県は、製造品等出荷額全国第3位の「ものづくり県」。そんな静岡県を物流面で支えているのが、コンテナ取扱個数全国第7位の清水港です。

清水港では袖師と興津の埠頭でコンテナを取り扱っていますが、中でも新興津埠頭は、平成11年度から着工を始めた新しい埠頭です。平成15年7月には第1バースが供用開始。供用を開始して以来4年連続で、接岸する船の数やコンテナ取扱個数を伸ばし続けています。(※1)

そして、平成19年8月に第1期計画が完了。さらに、待望の第2バースの整備が今年度からいよいよスタート！さらなる発展が期待されます。

新興津埠頭は高規格・最新鋭の埠頭で、海上コンテナ貨物の増大や、コンテナ船の大型化に対応できるだけでなく、災害時に緊急物資を受け入れることができる耐震強化岸壁となっています。



H11 着工前



H14



H18



第2バース完成予想図



H20 第1期計画完了後

第2バースが完成すると延長700m（水深-15m）にもなるよ。



しみずきんちゃん

数字でみる新興津埠頭 ※1

年	隻数	コンテナ取扱個数	前年比
H15	82	43,619	-
H16	171	99,364	227.8%
H17	202	112,467	113.2%
H18	486	159,432	141.8%
H19	745	193,560	121.4%

(単位: 隻、TEU、%)



H16



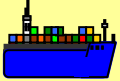
## 新規北米航路第1船

### “SEA-LAND METEOR”を歓迎訪船しました

清水港に新たな北米航路が開設され、4月16日（水）に第1船“SEA-LAND METEOR”が入港しました。

清水港管理局、静岡市清水港振興課、清水港利用促進協会のメンバーが歓迎訪船し、記念品を贈呈。歓迎の意を伝えるとともに、継続的な利用をお願いしました。

今回の新規航路開設により、清水港の定期コンテナ航路は23航路（北米・欧州1、北米2、欧州1、欧州・北米1、東南アジア7、東南・西アジア1、韓国・中国・台湾10）となりました。



コンテナ船“SEA-LAND METEOR（アメリカ国籍）”データ

■全長：292メートル ■載貨重量トン数：59,938トン ■コンテナ積載能力：3,800TEU



清水港からは主に、二輪自動車が輸出されるんだよ。

## 清水港第1回インポートバザール&第9回フラワーショーが開催されます！

港周辺に賑わいの場を創出し、地域経済の振興並びに文化の向上を図ることを目的として開催されてきたフラワーショーも9回目を迎えます。今年はさらに、国際貿易港“清水港”の貿易促進のために、インポートバザールを併せて開催し、輸入関連商品の展示・販売コーナーや輸入相談コーナーが設置されることになっています。

清水港管理局も写真・パネルの展示や、港見学会の実施を予定しています。

■ 日時 平成20年5月31日（土）、6月1日（日） 10時～16時  
■ 会場 清水マリナーミナル2階 多目的ホール



第8回フラワーショーの様子



静岡県は花の王国。ガーベラ（産出額（H16）全国第1位）、バラ（同2位）などの主要花きをはじめ、多くの花きが栽培されているんだよ。清水区はバラの産地で有名だね。

資料：花咲くしずおか情報館

☆みなさまからのご意見やお問い合わせはこちらまで☆  
〒424-0922 静岡市清水区日の出町9-25 清水港管理局 企画振興課  
TEL054-353-2203 FAX054-354-0380 e-mail : port@mail.wbs.ne.jp



New Public Engineering for SHIZUOKA  
いっしょに、未来の地域づくり。

静岡県建設部

